



今年も 1 年生が校歌を歌う声が朝から校舎に響き渡っています。日に日に上手になってきて、6 名だけの歌声とは思えない程の迫力が出てきています。そっと教室を覗くと、全員、歌詞を見ずに歌っており、更にびっくりしました。

6 月 6 日は、二十四節気の「芒種」(ぼうしゅ)と言われます。稲や麦などの穂が出る植物の種を蒔く時であり、昔の人は、この日に習い事を始めると上達すると言ひ、6 歳の 6 月 6 日に芸事を習わせ始めたと言われています。

皆さんもこの季節に何かを始めませんか？希望の種を蒔きましょう！！

虫歯がどっさり！？

ショック！

5 月の歯科検診の結果が出ました。なんと、虫歯を保有している児童の率が全体の **54%** となっていました。半数以上です！

虫歯をなくすには、ご家庭の力が不可欠です。歯磨きをしていても、磨きさがしは全然効果がありません。

「歯磨き」 ①寝る前は必ず！ ②指先 2 本分の大きさの歯ブラシで！ ③歯の間やでこぼこのある歯の低い所まで歯ブラシを！ ④歯の裏まで歯ブラシを！



きれいな歯を守って！

健康な体を造る源は歯です。健康な歯が子どもたちに根付くように真剣になりましょう！

スポーツや習い事が上達するのも、学力・体力をアップさせるのも健康な歯が基本となってきます。虫歯などで噛み合わせが弱いと体全体に力が入りません。

原因はなんだろう？

原因を除くことが重要

虫歯ができる原因はなんでしょうか？ やはり、口から入れる物ですね！おやつやお菓子大丈夫ですか。それを食べた後、歯に食べ残しが付いたままなら……！！

どうぞ、みなさん。本校から虫歯をなくしていきましょう！！ がんばりましょう！！



果無山頂上

田植え体験

世界遺産の道が通る果無集落。左の写真の中央が果無山の頂上です。道は、あの頂上を越えて本宮町（和歌山県）へ繋がっています。

果無山脈を見上げる絶好の景色が覗える田園が、本校が中さんより借りている田んぼです。

そこで、4・5・6年生が餅米の苗を植えました。初めて田植えをする児童もいて、今季初の水田の「ひやっと」「ぬるっと」する感触に、大きな歓声が揚がり果無山脈にこだましました。

4日(月)



田植えが終わり、ホッと一息。
身支度を整えたみんな！

数回経験する子どもたちは、慣れた手つきで、さっさささと苗を植えており、「楽しい。」「あー腰痛い！」「苗ください。」とか、「足がぬけらん。」「倒れるー。」などと自然に囲まれた田んぼで大はしゃぎ！田植えが初めての^{なかま}仲間くん兄弟も、みんなの動きを見ながら、おかしな足の感触に苦労しながら苗を植えていました。困った顔をしながら首をかしげる仕草が目に見えます。

不審者対応訓練



五條警察署十津川分庁舎の皆さんから不審者への対応方法について学びました。〔8日(金)〕

生活安全課スクールサポーターの田中さんが中心になり「いかのおすし・一人前」をキーワードにしてわかりやすく指導してくださいました。そして、子どもたちは不審者役に扮した警察官と子ども役に扮した教師との寸劇を見て学習した後、実際に子どもの代表が不審者に声を掛けられるシーンを見て、その場合の対処方法について学びました。

子どもたちは真剣なまなざしで見つめ、いけないシーンが来ると自然に「だめー。」と声が上がります。中には顔の前で腕を交差させて×印

を作って叫ぶ子もいました。指導してくださる警察官の方々は、「人間不信」に陥らないよう言葉に十分気をつけながら丁寧に説明をしてくれていました。

地域全体で子どもたちを見守る気持ちや体制にご理解・ご協力をお願いします！

学校の教育目標

『かしこく、明るく、たくましく、豊かに創造する子』

めざす児童像

◎夢と志をもって努力する子

- ①意欲をもって遊ぶ・学ぶ・挑戦する子
- ②進んで考え・行動する子
- ③自分と他の人を大切にする子
- ④郷土を愛し、貢献する子

- ①……遊び、学びに夢中になる。(集中力・持続力・想像力・創造力・協働力等)
※「遊び道具がなければ、自分である物を工夫して作って遊ぶ」など、遊びが基本。しっかり遊ぶ力は、将来の生きる力に直結すると考える。
- ②……知識(習ったこと、学んだこと)を使って、できることなどを考える。
(記憶力・判断力・分析力・質問力・説明力・実行力・創造力・適応力等)
※「習いを生活に生かす」ことの修練から、これからの世界を生き抜く力が身につくと考える。
- ③……人をいたわる優しい心を身につける。
(思いやり・なかま意識・ボランティア心・協働力等)
※「家族や地域の人々、友だちや幼い子どもたちに優しい気持ちで接する」ことを大切にすることから、人や動物、物を大切にする気持ちを育てる。
- ④……生まれ育った郷土を大事にする気持ちを育成し、郷土活動に協力する志を抱かせる。
(郷土愛・協働力・発想力・創造力・実行力等)
※「子どもの自由な着眼や発想、そして、なぜそのように思うのかをしっかりと聞き、認める」ことにより、自尊心を高め、その力を発揮していこうとする基礎的な気持ちを育てる。

本校では、この教育目標達成やめざす子ども像に向かって様々な取組を行っています。子ども達の実態(知・徳・体)を分析し、授業や授業時間以外の時間を計画的に有効活用する取組を進めます。

特に、「なわとび」を一貫して年中取り組む予定です。全児童分のなわとび用の縄を学校で準備しました。今後、短なわや長なわの技術が伸びていくよう、ご家庭でも励ましてください。徐々に身につく技術に、惜しみない賞賛の声を届けてあげてください。どうぞ、宜しくお願いします。

十津川村家庭学習のすすめ

村教育委員会発行「十津川村家庭学習のすすめ」の積極的ご活用をお勧めします。
家庭学習が定着しますように(*^o^*)